

■【トピックス】

機密保持！



尖閣諸島での中国漁船との衝突事件のビデオ映像がインターネットの動画投稿サイトに流出しました。

海上保安庁の職員が自供していますが、その是非は脇に置くとしても、その管理には問題があるといわざるをえないですね。

管理責任が問われることとなりますが、ネット社会での情報管理の難しさを浮き彫りにした事件でした。個人的には、映像が公開されて事実が明らかになったことはいいことだと思いますが。

■【ビジネス・アイ】

名義株

社長 「ちょっと心配なことがあるんだけど、いいかな？」

花野 「何でしょうか？」

社長 「実は株主のことなんだけどね。先日なくなった元専務に会社を設立する際に、株主として名義を借りたんだよ」

花野 「よくある名義株ですね」

社長 「そうなんだ」

花野 「それで実際のところ、元専務は出資はされていないんですよね」

社長 「実際の出資は、私が一人でしたんだけど、当時の書類が残ってないんだよ」

花野 「それは問題ですね。それならまず事実関係を確認する必要がありますね」

社長 「どうしたらいいかな？」

花野 「そうですね。まず、当時の資料を見せていただけますか？ 設立第1期からの決算書・申告書からお願いします」

社長 「なんか大変なことになりそうだね」

花野 「そうですね。時間が経つと事実関係を確かめること難しくなりますからね」

社長 「こんなことなら、もっと早くになんとかしておくんだったよ」

花野 「そのとおりです。元専務がご存命であれば、名義株について所有権がない旨の念書を書いていただくこともできましたからね」

社長 「後悔先に立たずだね」

■【今月のキーワード】

名義株

名義株とは、出資をしていない人に株主名簿上は株主なってもらっている株式のことをいいます。

平成2年に商法が改正されるまでは、会社を設立する際に発起人が7人以上必要であったために、実際に出資していない人にも株主としての名義を借りることがよくありました。

ただ、時間の経過とともに、誰が名義株主であるかの事実関係が不明確になり、のちに紛争を起こすことがよくあります。そのため、早期に実質的な株主に名義を変える必要があります。

■【今月の1冊】

『ビジネス文章5ステップ上達法』

堀内 伸浩 著

合同フォレスト ¥1400

不景気の中、業績を伸ばしている企業があります。そんな企業に共通しているのは情報発信の上手さです。ネット社会では特に求められる能力です。

情報発信の基本は、文章による表現です。しかし、世の中には苦手な人が多いですね。

そんな人に、是非とも読んで欲しいのがこの本です。初歩から事例を交えて説明していますので、どうすればよいか分かります。



■【編集後記】

パソコンのOSを、これまで我慢して使ってきたWindows VistaからWindows 7へアップ・グレードしました。その作業に7時間もかかりました。

パソコンはないと困りますが、使い続けるのも大変な道具だということを再認識した次第です。

『NEWS LETTER』vol. 45（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2010.12.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>